

## 《取扱説明書》

### 絶縁カバー無圧着端子用クリンパー

### HTN 21 (0.5...6mm<sup>2</sup>)

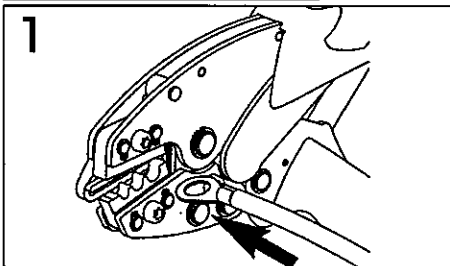
この取扱い説明書は以下の型式、品番の製品に共通するものです。  
内容を良くお読みの上で正しくご使用ください。

型式	品番	全長	重量	ダイス数
HTN 21 ロケータ付	901410	200mm	400g	3 (1.5/2.5/6 mm <sup>2</sup> )
HTN 21 ロケータ無	901461	200mm	400g	3 (1.5/2.5/6 mm <sup>2</sup> )

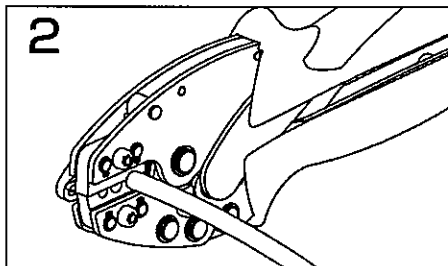
#### 加工能力

0.5...6 mm<sup>2</sup> 絶縁カバー無丸圧着端子、棒端子、筒状ケーブルラグ等に対応

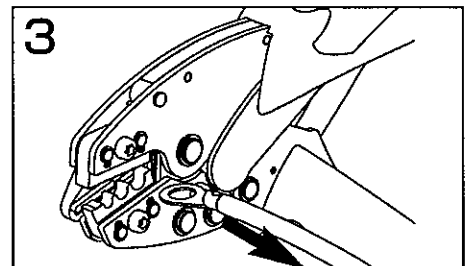
### 使用方法



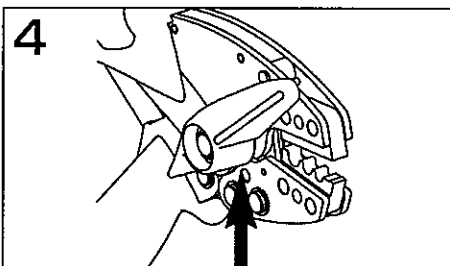
1. 被覆を剥いた電線の芯線の部分を絶縁カバー無圧着端子に装着します。この際、線剥き長さは、ご使用になる圧着端子の規定に従って下さい。電線を挿入した圧着端子を正しいダイス位置にセットして下さい。  
(1.5/2.5/6mm<sup>2</sup>)  
※ロケータ付の場合は、ロケータの溝に圧着端子先端が収まるようにセットして下さい。



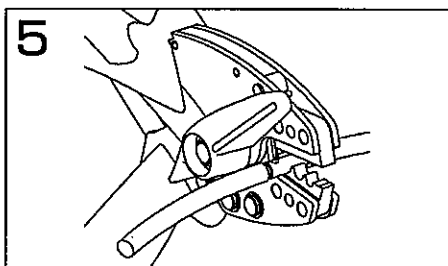
2. グリップをラチェットがリリースするまでしっかり握ります。電線サイズにあった最適な圧着力で圧着します。



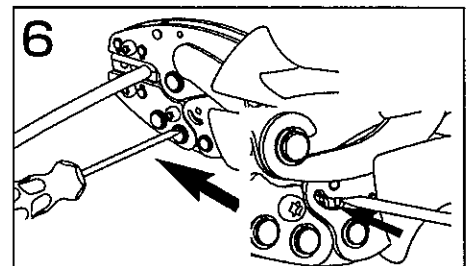
3. グリップを最後まで握る事により、工具内部のラチェットのロックが外れ、圧着部が開放されます。  
軽く圧着端子を引張り、確実に電線に圧着されている事を確認して下さい。



4. 筒状ケーブルラグ等を使用してケーブルを圧着する場合には、ロケータを上方向にずらして使用します。  
(ロケータ付きの場合のみ)



5. 筒状ケーブルラグを装着した電線を正しいダイス位置にセットして、グリップをラチェットがリリースするまでしっかり握ります。軽くケーブルラグを引張り、確実に電線に圧着されている事を確認して下さい。



6. グリップが戻らなったり、途中で止まったりした場合は、図のようにドライバーなどでラチェット機構部を戻します。

### 適合圧着端子

電線断面積に合った正しい圧着端子を選択しましょう！



#### 《注意》

- ・上記用途以外での使用は工具の破損や事故の原因となりますので絶対にお止めください。
- ・工具は、使用頻度に応じて機能維持のため定期的なチェックが必要です。
- ・お客様による修理は故障や事故の原因となりますので絶対にお止めください。